

都市再生整備計画 事後評価シート  
野崎駅周辺地区

平成23年3月

栃木県大田原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	大田原市	地区名	野崎駅周辺地区			面積	130ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	645百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業	道路(12路線)、公園(2箇所)、地域生活基盤施設(野崎駅前広場、野崎交流広場、駅前周辺駐車場)、高質空間形成施設(駅前広場トイレ)							
	提案事業	野崎地区活性化事業							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし。	事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	提案事業	なし。			-		-		
新たに追加した事業	基幹事業	公園(街区1号～街区4号)、駅前周辺駐輪場、駅前広場モニュメント	駅前周辺機能の充実、また地域住民のコミュニティー活動の場を創出するため。		指標1・指標3に関係するが、数値目標は据え置く。				
	提案事業	なし。		-		-			
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-				
	変更	-	-		-				

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	野崎駅及び駅前広場利用者数	人/年	360,000	H17	396,000	H22	396,000	432,000	○	あり なし	駅周辺の整備を行うことで、駅利用者の増加に繋がった。	H23年7月
指標2	道路排水施設の満足度	%	5	H17	70	H22		75	○	あり なし	道路側溝の整備を行ったことにより地元住民の満足度が高まった。	H23年10月
指標3	公園の利用者数	人/年	6,700	H17	8,000	H22	7,557	8,050	○	あり なし	公園の機能を充実させることで、利用者の増加に繋がった。	H24年3月
指標4										あり なし		
指標5										あり なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

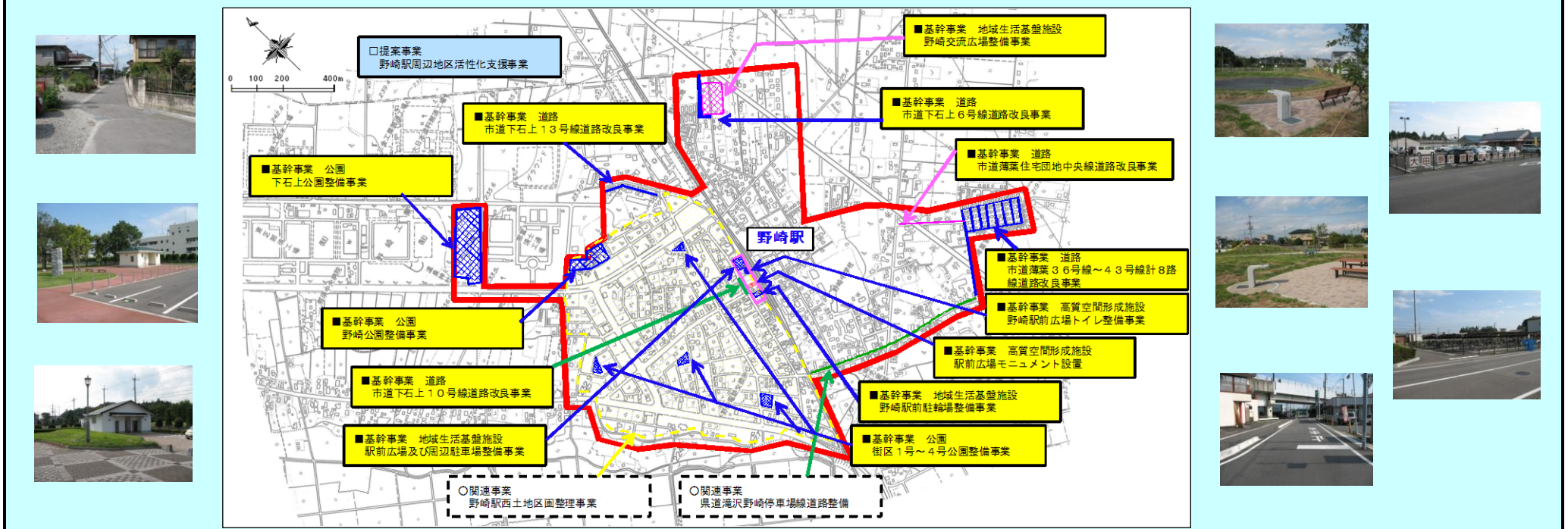
4)定性的な効果発現状況 本事業の実施に伴い、地元の活性化協議会が設立され、整備された駅前広場での祭りなどを自主的に開催し、地域住民の参加も多く、活性化に貢献している。種々のイベント等を通して地元への愛着心を育てたりコミュニティとしての役割も担っており、行政との協力体制も確立されつつある。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
モニタリング	モニタリング	平成21年度末までの数値指標記録による確認	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	事業の進捗を図る。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		
住民参加プロセス	住民参加プロセス	野崎地区活性化協議会による会議の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	市民の意見を参考にしながら進捗を図る。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		
持続的なまちづくり体制の構築	持続的なまちづくり体制の構築	野崎地区活性化協議会による会議の開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	市民の意見を参考にしながら地区の活性化を支援していく。	
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	活性化協議会と連携を取りながら地区の活性化を支援していく。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		

## 様式2-2 地区の概要

### 野崎駅周辺地区(栃木県大田原市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標:「安全・安心・快適さを整え、楽しく暮らせるまちづくり」 目標①・JR野崎駅の機能性・利便性を高める。 目標②・住み心地の良い生活環境を整える。 目標③・憩いの空間の充実化を図る。 目標④・住民の地元への愛着心を育てる。	野崎駅及び駅前広場利用者数	単位:人/年	360,000 H17	396,000 H22	432,000 H22	
	道路排水施設の満足度	単位:%	5 H17	70 H22	75 H22	
	公園の利用者数	単位:人/年	6,700 H17	8,000 H22	8,050 H22	
		単位:		H	H	H
		単位:		H	H	H



まちの課題の変化	<p>駅前広場や周辺施設の整備により駅の機能性・利便性を高めることができた。今後は駅舎の改修や駅広の電線など景観を意識した整備を進めるのが課題である。</p> <p>道路の整備改善に取り組み、居住者や歩行者の安全面、衛生面の満足度を高めることができた。今後は、未整備地区は生活道路の改修を優先的に進める必要がある。</p> <p>公園機能を充実させることにより地域住民の「憩いの場」が創出された。</p> <p>活性化協議会が設立されたことで、地域住民が主体的にイベント等を開催し、地元への愛着心も深まりつつある。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の整備に続き、駅舎の老朽化や広場の電線など景観に配慮し改善可能なものの改修を推進していく。</li> <li>主要生活道路については、側溝や歩道の未整備地区を優先的に着手する計画を作成し、地域住民の安心安全を考えた整備を進めていく。</li> <li>市の玄関である駅前広場でのイベントなどを定期的に開催し、地域住民や周辺住民を集客できるような魅力ある企画運営をしていく。</li> <li>地域住民の「憩いの場」が創出された公園の機能の充実や維持管理を行う。</li> <li>地元が主体となった行事を企画運営することで、地元への愛着心のさらなる向上をめざす。</li> </ul>